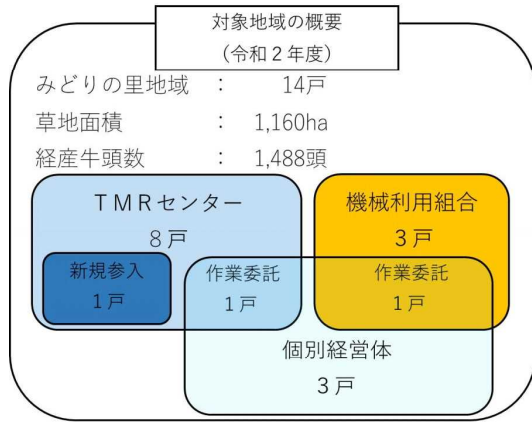


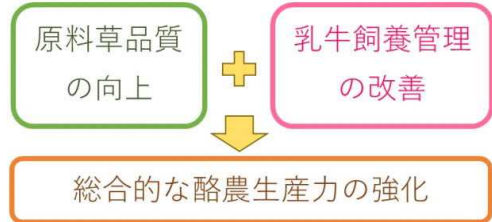
地域資源を活用した総合的な酪農生産力の強化

(別海町みどりの里地域)

1 課題の背景



みどりの里地域では、原料草の栄養価の向上および乾乳期から分娩前後までの飼養管理と繁殖管理の改善が課題となっていた。普及センターでは、「原料草品質の向上」および「乳牛飼養管理の改善」によって、酪農生産力を強化する地域の取組を支援してきた。



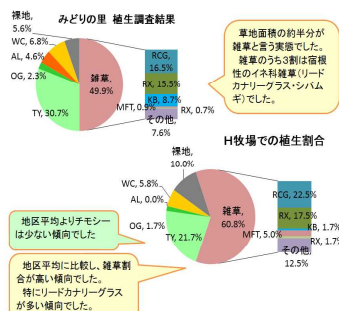
2 活動の経過

原料草品質の向上



農業者と一緒にほ場を歩いて植生調査。ほ場マップを作成。

TMRセンター構成員で協議。



乳牛飼養管理の改善



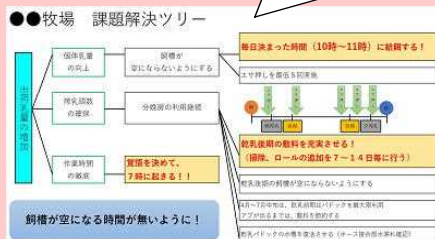
飼料給与の適正化へ向けて、目標と対策を確認・整理。



乾乳～分娩前後のBCS・腹囲形状・子宮の回復を確認し、対策を協議。

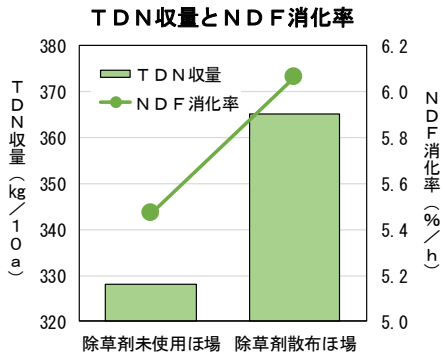
発情発見方法の改善へ向けて、繁殖カレンダー、乳検DLの導入・定着を目指し、定期巡回を実施。

意見集約手法を用いて、乾乳牛の飼養環境の適正化に向けた課題の整理を行い、分娩環境の整備。



3 活動の成果 *****

原料草品質の向上



農家の声

「早期収穫したことで8月には種ができた」
 「高価なスプレイヤーを導入した効果が確認できて良かった」
 「チモシー割合が増え、収量が増えたと実感できた」

牧草の栄養価（TDN収量）と消化性（NDF消化率）について、除草剤利用の優位性が確認できた。当地域では9割以上の草地で除草剤の適正利用による難防除雑草対策が実施されている。



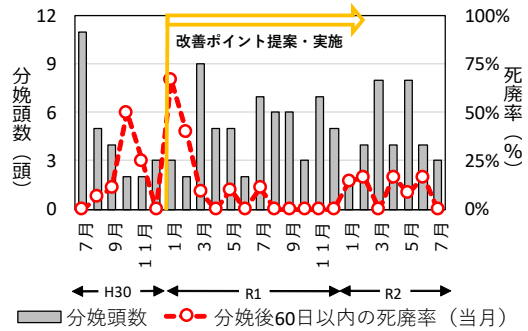
乳牛飼養管理の改善



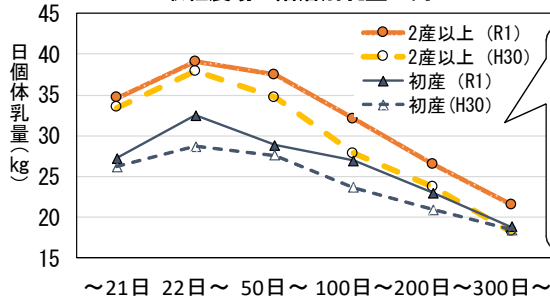
乾乳舎で前後期に群分け

乾乳牛の群管理改善に取り組んだ農場では、エサを十分に食べられる環境が整い、分娩後の事故が大きく減少した。

取組農場の分娩頭数と死廃率の推移



取組農場 階層別乳量の向上

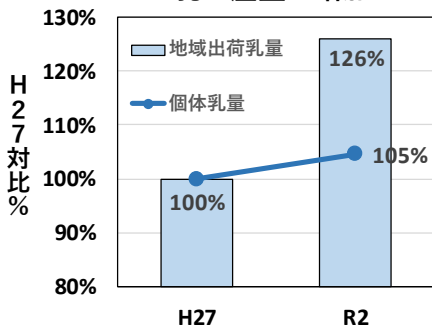


飼料給与の改善に取り組んだ農家では、ピーク乳量と泌乳持続性が改善。

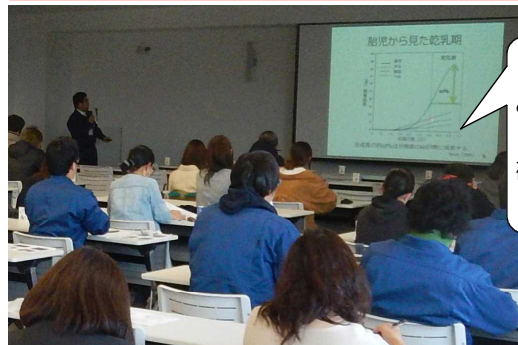


繁殖カレンダーの活用が定着した農場では、発情発見率の向上（改善前23.3%⇒後36.1%）や、初回授精日数の短縮（改善前84日⇒後71日）などの成果が表れている。

生乳生産量の増加



地域の生乳生産量は順調に増加している。



みどりの里地域の取り組み成果を、各種研修会で紹介。

4 今後の活動 *****

それぞれの取組は定着し、酪農生産力の強化につながった。到達目標が達成されたため（地域の農業粗生産額：基準年対比137%）、本課題は令和2年度で終了する。